

[対象入試] 2026年度 一般入学試験

【数学】

数学Ⅰ・Aで学習する基本的な内容を理解した上で、思考力を働かせて少しレベルの高い問題にも応用ができるかを見ることを主な狙いにして作成されている。特別な知識や解法を知っていると有利な問題は出さず、教科書の内容をどこまで深く理解しているかを問うことを考えた構成になっている。各分野の特性を活かして、次のような能力を評価することに重点を置いた。

＊数と式

やや複雑な計算をしたり、解に条件が付けられた不等式を考えたりすることができる能力

＊2次関数とその応用

文字定数を含む関数や方程式に対して、起こりうる状況を整理し、場合分けをして処理していくことができる能力

＊データの分析

単に中央値や平均値を求めるのではなく、それらの値から逆にデータを確定することができる能力

＊図形の性質と図形の計量

いくつかの性質を含む図形において、基本的な定理や法則が使うことができる部分を見抜く能力

＊場合の数と確率

複雑な試行であっても、そこで応用可能な基本形を組み合わせることによって、確率を正しく計算する能力

基本問題が確実に解けるかどうかを見ることが第一目標である。その上で、ややレベルの高い問題であっても、基本問題で用いる考え方を自然に応用できる能力がどの程度あるかで得点の差が出るような内容にした。